

第5回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会会議録

会 議 名	第5回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会
日 時	令和5年1月19日（木）午前10時00分～午後0時08分
場 所	西宮中学校 2階多目的室
出 席 者	懇談会委員17名（欠席11名）
傍 聴 者	3名
次 第	1 第4回懇談会の主な意見等について 2 改築規模について 3 複合化等について 4 配置計画スタディについて
資 料	資料1 第4回懇談会の主な意見等について 資料2 改築規模について 資料3 複合化パターンについて 資料4 配置計画スタディ

進行役	<p>まだお越しいただけていない方がいらっしゃるようですが、時間になりましたので、ただいまから第5回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催させていただきます。</p> <p>進行役はこれまでどおり、西宮中学校校長の宮崎が行わせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>まず、改めまして、本日はお忙しい中、懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。本日も2時間程度、正午ごろまでを予定しておりますので、進行についてご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本懇談会を傍聴したいということでご参加いただいている方がいらっしゃいます。これにつきましては基本的に認めることとなっておりますので、ご了解ください。なお、傍聴の方は発言できませんので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、配付資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>（配布資料の確認）</p> <p>なお、今日は2名の委員の方につきましては、急遽リモートでの参加ということになりました。今日、映像を映す環境の準備ができませんで</p>

	<p>したので、音声ベースのご参加ということでございますので、どうかご了承いただければと思います。</p> <p>聞こえていますでしょうか。</p>
委員	大丈夫です。よろしくお願いします。
委員	聞こえています。よろしくお願いします。
進行役	<p>それでは続きまして、次第に入る前に、今回初めて出席される委員の方がいらっしゃいますので、一言自己紹介をいただきたいと思います。</p> <p>(委員自己紹介)</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>第1「第4回懇談会の主な意見等について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料1を御覧いただければと思います。前回の主な意見等で事前に配付してございますので、ごく簡単ということで。</p> <p>前回は複合化のあり方、それから学校と図書館の複合化による教育効果等について。それから最後に配置計画のスタディを予定しておりましたが、時間の関係で説明ができなかったという状況でございました。</p> <p>主な意見としましては、</p> <p>まず、複合化の必要性について、財政面からの大きな方向性として、効率化、複合化ということが必要であるということは理解できたということが、皆さん多くの方からご発言があったかなと思います。</p> <p>それから、複合化のメリットにつきましては、複合化による公共図書館のリファレンスのよさなど、メリットもある一方で、デジタル化なども進むので、必ずしも合築でなくても、様々な連携ができるという側面もあるのではないかというご意見があったと思います。</p> <p>それから、現在形の評価というところで、今の宮前図書館は非常に地域に根差した活動で、理想形に近い活動ができていますので、そういったよさをできる限り継承していきたいというご意見もあったかと思えます。</p> <p>次に、様々な複合化の形について、今日資料3で示させていただきますが、公共図書館と集会施設の複合化とか、中学校と図書館の複合化だけでなく、そういったコミュニティ施設なども含めて複合化の形というものは考えられるのではないかというご意見を頂いたというところかと思えます。</p> <p>その他の意見は御覧のとおりですので、省略させていただきます。</p>

	<p>簡単ですが、資料1の説明は以上です。</p>
進行役	<p>これについて、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、次第の第2「改築規模について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料2、改築規模についてということで、お聞きいただきたいと思います。西宮中学校の改築の規模を定めてまいりたいと思っております。</p> <p>学務課で行っている、今後10年間の予測をベースに、改築規模を設定していきたいと考えています。</p> <p>1ページ目の右下を見ていただきますと、今後10年間の学級数の予測が出てございます。今年度は10学級、再来年度には12学級ぐらいまで一時的に増える想定でございますが、新校舎の開校につきましては、第1回の懇談会でもご説明したとおり、配置計画等にもよりますけれども、標準的なスケジュールですと、令和10年度ぐらいから新校舎が開校するというので、赤枠で囲ったところが新校舎での学校運営ということになってくるかと思いますが、それ以降は、10学級、もしくは9学級程度ということが推計されてございます。</p> <p>また、右上のグラフを見ていただければと思いますが、学級数だけではなく生徒数について、令和10年度に345名ですが、その後漸減していく想定がされてございます。</p> <p>これが10年間の予測ということでございますが、その先にどうなるかというところですが、おめくりいただいて、2ページ目を御覧いただければと思います。</p> <p>11年後、12年後というところで言いますと、現在の1歳児、0歳児がベースになってくるというところで、2ページ目の上のグラフで、現在の西宮中学校の学区域内の住民登録の数を歳児別に示してございます。年少に行けば行くほど減っている状況で、先ほどの10年推計にも現れているところですが、0歳児、1歳児は御覧のとおり、さらに減っていくという状況がございましたので、そこまでについては、逓減傾向が続くと思っております。</p> <p>それ以降ということになりますと、当然、現在生まれておりませんので、今後の人口推計によるところになるわけですけれども、下の「杉並区年少人口推移」を御覧いただければと思いますが、杉並区全体の年少人口の推計は、令和7年度をピークに逓減していくという予測になってございます。</p> <p>それからグラフにはございませんが、中学生の歳児でいいますと、少</p>

	<p>しピークは遅れますが、令和 12 年度ぐらいがピークで、その後遞減していくという推計になってございますので、このような状況を踏まえまして、普通学級については、10 学級規模で改築をします。ただし、一時的にそれ以上になるケースも考えられるかと思っておりますので、少人数教室等、普通教室に容易に転用できるような形として、仮に 11 学級になった場合でも困らないような形で、整備をしてまいりたいと考えてございます。</p> <p>続きまして、3 ページ目です。その場合にどういった学校規模になってくるのかというところを示してございます。</p> <p>表の左側が現在の校舎の面積で、右側が新しく改築する建物のほうということでございます。</p> <p>普通教室、特別教室等については、大体同規模ぐらいになりますが、管理諸室などは、現在の職員室なども少し広がったり、職員の休憩スペースなども今は労基法の関係で設けることになっておりますが、そういったものが増える部分があると思っております。</p> <p>それから、屋内運動場についても、ひと回り大きくなりまして、器具庫なども含めてですけれども、1,006 m<sup>2</sup>ぐらい。</p> <p>それから給食調理室については、今、衛生基準等が厳しくなっておりますので、アレルギー対策のスペースなども必要になるということで 100 m<sup>2</sup>前後大きくなっている。</p> <p>学校開放諸室につきましても、今は開放用のトイレは、簡易なトイレがあるだけかと思っておりますけれども、そういったところも、しっかりしたお手洗いですとか、開放会議室等、更衣室等が標準では整備をすることになってございます。</p> <p>トータルで見ますと、現在の 5,900 m<sup>2</sup>が 7,300 m<sup>2</sup>強ということで、こちらについては、杉並区で標準を定めてございますので、10 学級規模ですとこういったものが標準になるということで、他校、近年ですと神明中なども今検討しておりますが、同じような形が標準になって整備をするという考え方でございます。</p> <p>資料 2 の説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>それでは、これにつきまして、ご意見やご質問などがありましたら、挙手をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、お願いします。</p>
委員	<p>1 つ確認したいことがあります。今、この地区の生徒数が減少傾向にあり、普通教室 10 学級規模で改築するというところで、ただ、生徒数が</p>

	<p>増えた場合も 11 学級に対応できるということで、問題ないと思うのですが、例えば松庵小学校で言いますと、高二小学校さんは分からないのですけれども、2019 年度から 2020 年度までは、1 学年 60 人台で 2 クラスだったのです。それが、今年度、令和 4 年度、2022 年度は、ちょうど 80 名に増えまして、3 学級になっています。来年度はさらに増えて 85 名と聞いております。どちらかという、増える方向にあるのですね。</p> <p>あと、昨年秋に 5 分区 7 学校の校長先生と P T A 会長の集まりがあったのですが、その際に高四小学校さんに伺ったときも、高四小学校さんも、来年また増えるので、1 つ教室を潰してクラスを増やすということ聞いておりますし、どちらかという、ちょうどそれが先ほどの表の赤枠のところに重なるのですが、ここで増えていくのではないかというイメージがあったものですから、この生徒数の推移をどういうソースで取られたのかということで、教えていただけたらと思います。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ソースは、基本的には住民基本台帳の学区域内に住んでいる子どもです。ですので、松庵小学校などは全部、西宮中学校の学区域に含まれておりますので、その子たちのトータルの数をベースにして、西宮中はどちらかという希望で学区域外から受け入れているほうの学校ですので、そういった近年の傾向も加味して推計を出しているという形になりますので、先ほど、2 ページ目の西宮中学校の学区域の住民登録の人数というのが、これが全体としてはベースになってきているということです。</p> <p>言われたように、今の小学生以上は、高い年度もあるのですけれども、その後、実際に子どもが減っているという状況もあって、先ほどのような推計になっているのかなと考えてございます。</p>
<p>進行役</p>	<p>ほかにございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>普通教室の数、今の推定からするとこうなるということで、それは分かるのですけれども、これは 40 人学級で恐らく計算されていると思うのですけれども、将来 35 人、あるいは 30 人学級ということも想定されると思うのです。20 年前から 35 人学級の話がかなり出ていますので、少子化になってくると、今、少人数教室とかそういう授業の関係もあるようなので、その辺でこの 10 学級で十分なのかどうか、それをちょっと心配しているところです。</p> <p>以上です。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>この懇談会でも、他の委員などからも、35 人学級という可能性も将来を見据えてしっかり考えるべきなのではないかというご意見もあったかと思います。</p> <p>35 人学級は、大きな流れとしては今後ある可能性は十分あるのかなと考えていますが、1 ページ目の左の表を見ていただくと、3 学級になるか4 学級になるかという分かれ目は 105 人までであれば 35 人でも 3 学級、106 人以上だと 4 学級になってくるというところかと思います。</p> <p>令和 13 年度ぐらいまでは、そういう意味では 109 人というところは多分 4 学級になっていって、11 学級というところもあるのかなと思いますが、令和 14 年度、106 人のところは 4 学級になっても 10 学級で収まる。その先は先ほど申し上げたように、長期的には逡減傾向にあるというところもあります。</p> <p>あとは学務課にも確認し、35 人学級は将来的になるにしても、少し導入までは時間がかかったり、経過措置などもあるだろうというところ。それから西宮中学校は先ほど申し上げたように、定員よりも受け入れている側ですので、その辺の調整というのもあるというところから踏まえると、確かに令和 10 年度からしばらくはそういった関係で 10 とか、場合によっては 11 になる可能性もあるかと思いますが、そこは先ほど申し上げたように、少人数学級等をしっかり利用することで対応できるかなと。その後は、35 人でも 10 学級以下になっていく可能性は高いのかなというところも踏まえて、今回は学級規模を推計したという考え方でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>現実には、今も他校から来ている子は結構多いので、ここに他校から来ると、2、3 の差だと、例えば 3 が 4 になるという可能性は十分ありますよね。特に今、部活関係で、ない部活があると、ある学校に行きたいというので指定校変更で今は来ている状況がかなりあるようなので、そうすると直近のこの数字を見ると、3 か 4 になるのはほんのわずかな差ですよね。あくまでも推定人数なので、このまま行って大丈夫なのかというのはちょっと心配な点が 1 つあったので、しっかり数字の根拠を出しておいていただいたほうがいいのではないかと。それでよければ 10 でもいいし、11 になってもいい。例えば今の少人数学級の級数を、将来転用できるような形を取っていただければ十分だと思います。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>設計までに、こういったことも、人数というのは日々変わったりする</p>

	<p>部分もありますので、そういった状況ですとか、周りの開発とか、そういうことがあればまた上振れする可能性などもないこともないのかなと思いますし、そういった状況を見ながらしっかり対応していきたいと思います。</p>
委員	<p>前もお話したことと重なるかもしれないですけども、現状もそうですけれども、様々な子どもが学んでいる。その子どもたちにどう対応していくか、それから今も問題になっていますけれども、教職員の残業が2時間毎日あるような状況、それも少しでも減らして、よりよい先生を学校教育に採用したいということで、いろいろ教育委員会等も苦労されていると思うのですけれども、そんなことも含めて、これからの杉並区の教育をどうするかというのを、もう少し考えて、学校規模とか教室を配置してほしいと強く思っています。</p> <p>先ほど、この人数でやって、もし増えたら少人数学級を開放するということは、少人数学級のための教室を潰して普通教室にするという発言なのかと思いました。</p> <p>今も、以前人数が多かったので教室がいっぱいあるので、少人数対応で、この学校でも指導を進めています。2クラスを3つに分けたりとか、1クラスを2つに分けたりとか、そうやっていますので、現状でも目いっぱい教室を使う時間もあるというようなこともあります。</p> <p>もっと大事なことは、杉並区が将来、今小学校は35人学級ですけれども、それをどうするか。中学校は今40人学級ですけれども、大きな流れとしては35人学級、場合によっては30人学級になることを見越して計画を考えてほしいと思います。</p> <p>予算の関係や法的なことからいくと原則どおりかもしれませんが、将来を見据えた杉並のよりよい教育のための学校施設ということをぜひ考えてほしいし、特別支援が必要な子どもたちがすごく増えていますので、そういう子どもたちにどう対応するか。そのための学校施設はどうするか。その辺まで突き詰めて、指導主事の先生もいらっしゃいますので、そういう意見もしっかり反映して考えてほしいと切に思います。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>要望でよろしいですか。</p>
学校整備担当部長	<p>ありがとうございます。ごもっともだと思います。</p> <p>この間、学校の適正規模というのを中学の場合にはクラスのレベルに分けて、例えば7,500㎡だとか7,800㎡だとか、そういった適正規模をお示しして、それにはまるような改築を進めてきました。</p>

	<p>適正規模を測るに当たっては、学校現場のご意見も様々聞いた上で、今、先生がおっしゃった将来的な需要も踏まえた上で、決めてございます。</p> <p>そういった中で、これは本当に将来の、20年後、30年後、そういったことをまず見越して、必要なスペース、キャパシティを用意しておきたい。その気持ちはやまやまでございます。</p> <p>一方で、適正規模、どのぐらいの規模が将来的に見こんでも的確かどうかということ、ここがまた学校経営をするに当たって、これは考えていかなければならないことです。</p> <p>そこで、今、職員も申し上げたように、あるときには教室で使い、あるときには少人数ですとか、様々な集会室としても使えるような、そういったフレキシブルなやり方というのが1つの選択肢としてあるかなと。そういったフレキシビリティを学校の中で増やしていく。これだけに使うのではない。これにも使うしあれにも使う、そういったスペースを、それは学校の運営も含めて答えを出していく、そういった状況に来ているのかなと。</p> <p>それはこの西宮中学校の改築だけではなく、今改築が終わって工事に入っている中瀬中学校だとか、あるいは来年度から工事に入る富士見丘中学校だとか、どこでも同じでございます。そういった考えの下に、もちろん将来的な需要には応えていかなければならない。そのことは念頭に置いた上で、その学校の適正規模ということについても、ぜひご理解をいただきたいところかなと思ってございます。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>少人数教室は、普通教室とどちらかではなく、少人数教室は、普通教室が確保された上にさらに必要になりますので、その件についてはご確認させていただきます。</p>
委員	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>今、部長の話も含めた上で、確認というか要望になるのですが、このクラス数、今後、生徒の数が増えていくという話は、実は20年前も同じことが起こり、ずっとこれから一生9クラスだと言われていた20年前のここの耐震のときもそうだったのですけれども、それ以来9クラスになったことは一度もないのですね。10クラス以上でずっと来ております。とうとう20年間の中で9クラスは1回もなかったという事実があります。</p>

	<p>ただ、20年前にも同じようなこと、当然、生徒の数というのは、これから生まれる生徒さんも含めて想定するということはとても難しいことなので、こういう統計の下に出てくるのかなというのは十分承知です。ただ、現実的には今、松庵小学校さんも高四小学校さんも、当然、高二小学校さんもそうなのですから、この地域性が住みやすい、幾つか土地もあるので、家も建てやすいということで、こちらのほうに引っ越しをしてきたいという、それは実は杉並区内だけではなくて、全国的に、ちょっと西高校のお手伝いをしたときに、小学6年生の保護者から、違う地方からこちらに来たいのですけれども、杉並区がとても住みやすい、子育てしやすい、特にこの地域は、教育環境が整っている。なので、こちらのほうに住みたいのですけれども、どうでしょうかという、ちょっとアドバイスなどをした時期があったのですけれども、そのぐらいにこの地域は、場合によってはこの杉並区だけではなくて、いろいろなところで住みやすい環境と言われているかなと思った。いろいろな状況を見ると、減る方向ではなくて増えていく方向のほうが、どちらかといったらあり得る地域であるのですね。</p> <p>だから、先ほど部長がおっしゃったように、クラス数は限られているとなると、この地域性を考えたときに、特別教室、準備室、その他の諸室、そここのところの㎡数を、場合によってはクラス数が増えたときに、クラスがつくれるのではないかという想定で増やすという方法が、先ほど言ったようにいろいろな形で使える。場合によっては、西宮中は学びの教室の部屋がないので、いろいろな空き教室を利用して生徒さんに移動してもらっています。</p> <p>そんなことも考えた上で、クラス数は想定の数で10ということであれば、逆に違うところの㎡数を増やして1クラス、いろいろなことに使える。場合によっては、生徒会の活動も盛んですので、その辺りの集会室、生徒たちがいろいろなミーティングをしたいということがあったときに利用できるという多様な部屋の㎡数を増やすというのも1つの、この地域性を見込んだ上では必要なことではないか。それがこの会議で皆さんの意見を拾って考えていただく1つの要素になるのではないかと思います。よろしく申し上げます。</p>
進行役	要望とは思いますが、(事務局は)、お答えになりますか。
学校整備担当部長	<p>ご要望だと思いますけれども、全くそのとおりでと思います。</p> <p>どうしても㎡数を、恐らく12クラスになるかもしれないからもっと大きい学校にしる、そういう選択肢もあると思うのですが、今おっしゃ</p>

	<p>ったこと、1つの目的だけではなく、複数の用途に使えるスペースを設けていく。例えば壁のありよう1つにしてもそうだと思いますし、そういった工夫というのは、限られたスペースの中で当然やっていくべきかと。そういったことのしやすい、新しい学校ができたときに、校長先生に新しい学校を引き渡すときに、こういう使い方もできますよ、こういった工夫があります、そういった建て方、こしらえ方というのは、当然、これから校舎配置を決めて平面図を決めていく際に当たっては、考えていかなければいけないことなのかなと。</p> <p>なおさら今おっしゃったように、この宮前の地域が住みやすい地域ですよということは、杉並区にとっても誇るべきことなのではないかと思うのです。そういった新しく入ってくる区民の皆さん、それが想定されるのであれば、そういったこしらえ方をしていく。どうしてもなかなか大きい建物ができませんから、そういった視点から言うと、そこをどう工夫で乗り越えていくのかということ、これは西宮中学校だけの問題ではないかなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>私事なのですが、神明中学校の改築検討懇談会にも、高四小学校のPTAとして出席させていただいております、今、神明中学校では平面図まで進んでいるかと思うのですが、その平面図の中で、12学級を想定して平面図案を起こしているかと思うのです。</p> <p>なので、こちらのほうが人数が多い、毎年1年生は35人学級で大体4クラスで来ているのですけれども、2年生になるときに、今、3になるか4のままいけるかという瀬戸際でずっと来ているのです。</p> <p>神明中学校よりも西宮中のほうが人数が多くて、毎年クラス数がどうなるかという話をしているぐらいなので、神明中で12学級で平面図を起こしている中、ここで10学級で想定するというのが、私の中では理解できないのですが。その辺りはどうでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>ちょうど神明中学校もこの西宮中学校の検討に少し先んじて、今は平面図の段階に入っていますが、今、神明中学校のほうも将来的な人口推計をやっています。</p> <p>来週、神明中学校の懇談会がありますけれども、平面図に関して言うと、これまでの積算を少し見直した形でお示しする予定です。それは今回、西宮中でお示したような、こういった将来推計も含めた形で、しっかり根拠をお示した形で新たな平面図を来週出す予定</p>

	<p>でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>神明中では来週ということですので、その辺りはまた検討させていただこうと思います。</p> <p>高四小学校のことを言いますと、高四小学校で数年前、特別支援学級をそれぞれの学校に配置するというところで、人数がすごく減っていた時期に改修をして、そのための場所を造ったのです。それから人数がすごく増えていて、今は算数教室も足りなくて、家庭科室の時間が空いているときに、家庭科室を算数教室、少人数制で行うときに使っていたりですとか、来年度は2学級増える可能性があるので、今、外部の方も使えるような開放の部屋を学級にしようと動き始めております。</p> <p>そういった現場でこういった推移だからというのはもちろん分かるのですけれども、読めないところもあるので、子どもたちが不自由な思いをしないように、ある程度の余裕をもって計画していただきたいというのがあります。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>要望ということですから、十分考えていただければと思います。</p> <p>それでは、いかがですか。</p>
委員	<p>お世話になっております。</p> <p>他の委員の方と全く同じなのですが、こちらの学区だと小学校から中学受験されて、私立に行かれるお子さんがかなり松庵小学校も高二小学校も、高四小学校も増えております。</p> <p>でも、西宮中学校が改築されると新しい校舎ということで、設備が整って、私立に行くのと公立に行くので選択を考えるご家庭も増えると思いますし、そういった意味でも、12学級を前提としてやっていただいたほうが、足りないで無理やり減らすのと、余裕があってほかの学級に使えるのとだと大分違いますし、本当に高四小学校では2クラス設定の状態を今、3クラスに全学級なりかけておりまして、PTA室も倉庫に行ってくれみたいな形で、みんな集まる会議室が一切潰されていくということで、杉並区に校長先生から何とかできませんかということでも、それはほかの学校も大変な学校も数校あるので、そこは頑張ってくださいみたいな、キャパを越えているので、そういった現実で子どもたちが不自由な思いをして、給食室も全然足りないということで、こちらの不満になってしまうのですが、本当に大変なので、やはりキャパにちょっと余裕があったほうが保護者的にも安心して通わせられるなというの</p>

	<p>は感じておりますので、要望としてよろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>設計はこの後だと思いますので、ぜひこういう要望があったということでご考慮いただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>現在、松庵町会の住民の年代は40代が多いという状況です。ということは、これから学齢期の子どもが増えていくであろうということが予想されます。</p> <p>それから、今、一戸建ての家が、高齢化しまして建て直しをするときに、1軒が4軒ほどとか増えて、恐らくこの調子でいけば、人口は増えていくだろうということが予想されることが1点あります。</p> <p>それから、今、私は4つの学校に外国の子どもの日本語指導に行っていますけれども、実は部屋がないという状況です。どこでというと、この西宮中学校も来ていますけれども、会議室を使ったり、図書室の準備室を使ったりということで、それから実は、別の例ですけれども、親御さんの相談が増えていて、教育相談室がいつも満杯というか、待っている状態で指導なさっています。</p> <p>それから、中学校も行ってはいますが、これから外国の子どもが50名前後でしたが、去年、今年から65名ほどに増えてはいます。ウクライナの子はまだ来ておりませんが、そういうことも考えますと、多様な対応、先ほどあちらの方がおっしゃいましたが、学校は簡単に少人数教室を潰して普通教室にすればいいという発想では困ると思っています。普通教室は普通教室で必ず確保していただいて、特別対応のできる多様な空間を造る、学校現場に合わせたそういう教室が今、求められていますので、その辺もどのようにお考えなのかをお聞きしたいと思います。</p>
進行役	<p>要望ではなく、回答を求めるとのことですか。</p> <p>では、今のことについてお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>先ほど、3ページでもご説明したとおり、現状の面積が5,900㎡ぐらいいに対して7,300㎡ぐらいに全体としては増やしています。</p> <p>先ほども、いろいろご意見もございましたけれども、今、これ以上なかなか大きくどんどん建てていくという時代でもなく、難しい部分もあるかなと思っています。</p> <p>面積をしっかりと増やしていきますので、その中で、先ほど部長からもありましたけれども、フレキシブルな施設、それから普通教室なども位置関係だとか、あとは分割して使ったりだとか、そういった多用途なものを今後設計などでしっかり工夫をして、今、いろいろご意見いただ</p>

	<p>きましたけれども、当然、子どもたちが困らない教育環境というのは最優先に考えていきたいと思っています。</p>
進行役	<p>今、大体ご意見を聞いたところでは、総合すると、10学級だとちょっと不安かなというお考えを皆さんお持ちのように感じましたので、ぜひご検討ください。</p> <p>では、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>高二小学校の改築検討懇談会に出た知り合いがいるのですけれども、その当時、改築に当たっては、少子化になると言ってクラス数をフレキシブルに変えられるように、高二小学校の関係の方が今日、PTAさんも先生もいらっしゃっていないので私が言うのですけれども、高二小学校は各フロアにフリースペースを造ったと。それが今、本当に助かっていて、そのフリースペースが教室になっている。本当に先のことは分からないのだよねという話は聞いてきましたし、今、こんなに教育の環境をぎりぎりのところで何とかしのぐような形で10学級に決める。来年はまた子どもが減るから、今年は少人数学級、少人数教室を潰すとか、そういう考え方は、教育の環境を削るのも、ほどほどに。削ってはいけない部分まで削っているような感じを持ちました。</p> <p>なので、これは要望ですけれども、神明中学校でもそうですけれども、教室数の確保は最低限の子どもの学ぶ機会であり、今は本当に不登校の子どもの数が過去最高になっているではないですか。コロナ禍が拍車をかけているわけですけれども、コロナ前の問題が噴き出しているわけで、少人数のクラスになっていくのは、多分、社会全体としての動きも出てくるのではないかと思いますので、その辺りももう一回考えて、10学級というのは西宮中学校では少ないなと思いました。</p> <p>以上です。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>まず教室の件で中学生となると、男女比のことも考えると今、男子がすごく多いのですけれども、非常に男子の体が大きくて、教室が狭そうだなというのが私の印象としてありまして、単純に人数だけではなく、男女比、また、中学生となると体が大きくなっていくということも考えていただきたいなということと、あと、人数が少子化で減っていく傾向というところの着眼も大切だと思うのですけれども、それに伴って日本の教育の多様化ということを見据えていくことも大事だと思っています。それによっては単に人数が少ないではなく学校のありようというのは、教育の多様化に対応していくいろいろな準備も必要ではないかと思</p>

	<p>っていますので、そこは外せないかなと思っています。</p> <p>質問なのですけれども、ここに頂いた改築規模について、これはシンプルに今、西宮中学校の皆さんから出ているご意見の中では、決して贅沢にあれも欲しい、これも欲しいと言っているわけではないと思うのですけれども、その中で、今、中学校に足りないものを全部入れてここで数字を出していただいて、こういうふうにしていただいているのか、もともと複合化をするということを念頭に、とりあえず中学校はこれぐらいで要望を入れて、もう一個複合施設を建てるようなことも念頭に入れながらこの数字を出しているのか、シンプルに中学校のことを考えて出てきた数字なのかということを知りたいので、ご説明お願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>先ほど申し上げたように、これは西宮中学校だからというわけではなく、今の中学校の改築のときの標準の規模で必要な諸室をしっかりと整備するという考え方です。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p>
学校整備担当 部長	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>まさに、子どもの数が減っているから、それだけで条件を当てないでくれという話でしたよね。教育を受ける子どもの数という量の問題だけではなく、その子どもにどういう教育を施していくかという質、縦軸と横軸があるのではないかと、それで面積が決まるでしょうという考え方だと思います。</p> <p>その辺も含めて、当然、先ほど係長からも話があったように、今回、これは西宮中学校だけではなくて、杉並区立学校施設整備計画の中で、質の問題も含めた形で今後、どういう設備が必要かということを見直して、そこは面積に換算してやっている。</p> <p>そうすると、今回、この資料の3ページを見てもらっても分かるように、昔の学校と比べると大幅に面積数が増えている。昔、昭和の時代、5,800㎡ぐらいでよかった。これは中学生の数は多かったと思うのですよね。私も中学生でした。でも、面積を広げないといけないというのは、さっきも言った縦軸と横軸の関係があるからだと思っている。でも、質の部分は読み切れませんよね。量の部分は、確かにこの宮前地域というのは、子どもの数の減る割合が少なくなってくるのかなというのは、先ほどそちらの皆さんのお話からも、もしかしたら増えるかもしれないという話もあるけれども、質は本当に分からないのです。</p> <p>そういった中でも、予想できる範囲で必要な面積はあるでしょうとい</p>

	<p>う視点で考えると、昭和の時代と比べてもあまり意味はないですよと言われるかもしれませんが、5,893 m<sup>2</sup>のところを7,327 m<sup>2</sup>。これはほとんど質の問題でもあるのかなと。だから、先程話に出た高二小学校ではフリースペースで教室を造っている。それがいいとは言いません。けれども、そういった何とか対応の仕方でもできるのかなという形で、そういった工夫も含めて、もちろん量がこれで足りるかどうかということももう一回精査はしますけれども、その辺でぜひご理解を頂ければと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
進行役	<p>いろいろな要望が出ましたので、ぜひそれはご検討いただければと思います。特にこの後ご説明いただく次第3、4について、多分そこに関わる話も出てくるかと思しますので、先に進ませていただいて、その上で……。</p>
委員	<p>皆さんの議論を聞いていまして、基本的には最後におっしゃったように、10クラスで7,327 m<sup>2</sup>というのは比較的ゆったりとしたというか、それほど狭くないのかなという、標準的で問題はないような数字だとは思いますが。</p> <p>一方で、少しこれは内訳がかなりアバウトな表になっているので、本来であれば、それぞれの教室、今、はっきり面積が分かるのは普通教室10学級で、720 m<sup>2</sup>で割ると大体72 m<sup>2</sup>かなというぐらいで、あとは、具体的な内訳が分かりにくいので、恐らくもう少し詳細な面積表というのを出しながら、それでこの部屋が狭いのではないかとか、数が足りないのではないかとか、この部屋は逆にちょっと大き過ぎるのではないかとか、そういう検討をしたほうがいいのかと思っています。</p> <p>先ほどあった多目的スペースですとか、少人数学級の話とか、あとはいろいろ日本語の指導とか、いろいろな目的で使う部屋とか、相談室とか、そういうものはどの面積に入っているのかというのがちょっと分かりにくい。</p> <p>それから、一方で、さっきちょっとあったように、特別支援学校が今72 m<sup>2</sup>ですが、これは1教室分ということで、恐らく今の教育体制を考えると1教室分だけでは特別支援は足りないのかなと。私が今、文科省の標準仕様でモデルプランとかを検討していますが、標準的には特別支援は結構、200 m<sup>2</sup>ぐらいは必要になってくると思うのです。</p> <p>一方で、管理諸室が3,000 m<sup>2</sup>、その他諸室がありますけれども、3,000 m<sup>2</sup>というのはちょっと大きいような気がしますので、いずれにしても、</p>

	<p>もうちょっと詳細な面積表といいますか、出しながら、具体的に検討するということが必要なのかと思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>では、この後の、今まさに「配置計画スタディ」についてもそれに関わるかかと思しますので、進ませていただいてよろしいですか。</p>
委員	<p>今のことについて。以前配られた、杉並学校施設、これの図表の 18 に細かい部屋の㎡が出ているのです。それに準じて、この右側の数字が出ています。現状が左側で、右側が施設計画の中の建物。これで細かい部屋の数値も出ています。</p> <p>ですから、西宮中学校に特化してこの数字というのではなくて、これからの中学校の部屋の数字、ただそこから抜けているのが、これは 12 室だけれども、ここは 10 室。部屋の大きさは 8 m から 9 m ということで、この半分ですよ。これが 1 つの教室。今、私たちは 40 何人いるのですけれども、40 人だと半分の部屋に 40 人全部いるというぐらいの感じですよ。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今日、皆さんは資料を持っていないと思いますけれども、今、お話しいただいたとおりですので、次回またその辺りは示していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>今日、大きな本題になるのはその次のことかと思しますので、ぜひご提案をいただければと思います。</p> <p>次第 3「複合化等について」と、次第 4「配置計画スタディについて」、一括して説明をお願いいたします。</p>
企画課施設マ ネジメント担 当課長	<p>施設マネジメント担当課長の最上亮と申します。</p> <p>私からは、資料 3 の複合化のパターンについてということで、ご説明させていただきます。</p> <p>前回、いろいろ皆様からご議論いただいた際に、図書館との複合化だけではなく、ほかのパターンもあるのではないかと、そういったことも頂きましたので、今回改めて 3 つのパターンを整理して、今後の議論をしていただきたいというところでございます。</p> <p>まず、「宮前地域における施設再編の課題」ということなのですが、前回、私のほうから、そもそも何で区立施設の再編整備に取り組まさせているのかということでお話しさせていただきました、全国的にも課題になっている公共施設の老朽化問題に対応していかななくてはならない。施設が次々と更新時期を迎える中で、どうしても全体</p>

的な傾向としては少子高齢化が進んでくる。エリア的に増えていくところもあれば減ってくるところもあるかと思いますが、総じて少子高齢化が進んでいく中で、どうしても施設に振り向けることができる財源がどうしても限られてしまうという中で、老朽化への対応を図っていくためには様々な工夫をしていかななくてはいけないというところで、お話しさせていただいたところでございます。

そういった中で、この宮前地域を見渡してみますと、この西宮中学校、築 61 年、近隣の大宮前保育園、ゆうゆう館を併設しておりますけれども、これは築 57 年を迎えているというところ。さらには宮前図書館も築 50 年ということで、改築を検討すべき時期になっていると。こうした公共施設の老朽化への対応をしっかりしていかななくてはいけないというところがございます。

またさらに、このエリアを見ますと、集会施設がないということで、その整備が課題となってくる。そうした中では、ここの学校の改築、あるいは図書館の改築、そうしたところをしっかりと生かしていく必要があると考えております。

括弧書きで記載しておりますのが、大宮前保育園に今、ゆうゆう館が併設されておりますけれども、容積率の制限などから、保育園を改築した場合に、これは学校と同じなのですけれども、昭和 30 年代、40 年代に求められていた保育環境と、今の環境というのは異なってまいりまして、保育園も学校と同じように、大体大きくなっていくと。そうすると、ゆうゆう館を併設するだけのスペースを確保していくことは困難な状況になっているというところでございます。

また、保育園につきましては、原則休園期間なしで継続して運営を行うことを前提としているということで、例えば改築をする際に、何年間か休園をするという形を取ることがなかなか難しい。これは学校と同じようなことでございます。

そうした中で、今回 3 パターンということで、1 つ目がこの間お話しさせていただいた、中学校と図書館を複合化するパターン。後ほどご説明しますが、図書館の跡地については、例えば集会施設ですとか保育園の園舎であったりですとかというところ。

パターン 2 といましては、中学校と集会施設を複合化するパターンということで、こちらについては図書館については現在の用地で、場合によっては今と同じようにさざんかステップアップ教室と併設することも考えられるというところ。

3パターン目につきましては、中学校は単独で改築を行い、図書館の部分について集会施設と複合化を図っていくパターン。大きくこの3パターンがあるのではないかとこのところ、今回ご提示させていただいているところがございます。

具体的内容について、裏面を御覧いただければと思います。それぞれ3つのパターンごとに、項目ごとに整理をさせていただいております。

1つ目の中学校と図書館の複合化につきましては、中学校と図書館ということで面積を記載させていただいております。まず学校の面積ですけれども、これは先ほどご説明させていただいたいわゆる改築規模、7,327㎡を7,350㎡と仮定いたしまして設定をしておるところでございます。この辺りにつきましては今後設計に入っていく中で前後するところがありますので、目安として受け止めていただければと思います。

パターン1につきましては、7,470㎡ということで、パターン2、パターン3に比べて少し大きくなっておりますけれども、これは検討していく中で、図書館との複合化という中で共用スペースの関係もあり、少し大きくなるという想定で設置をしておるところでございます。

図書館につきましては、現在の敷地の中で仮に改築をするとすると、前回もお伝えしましたように、現在の建築基準法等の関係で、大体今の大きさではなくて、1,650㎡までしか建てられないというところがありますので、最大で1,650㎡の図書館が造れるのではないかとこのところ、今回、設定させていただいたところがございます。

そうした場合に図書館の敷地については、土地として集会施設ということで、前回、コミュニティふらっとという今、区で進めさせていただいている地域コミュニティ施設を紹介させていただきましたが、大体これの平均的な面積が600㎡程度ということなので、これを仮置きしております。

そのほかに、保育園が1つ考えられるということで、これは仮園舎としての活用であったり、あるいは大宮前保育園以外にも周辺に例えば松庵保育園であったり久我山保育園であったりというようなところがあったりですとか、あるいは移転してきたりですとか、そういった可能性もあり得るということで、仮園舎のパターン、本園舎のパターンというところがございます。

また、ここには様々なパターンがあろうかと思っております。例えば集会施設とさざんかステップアップ教室を併設、複合化するような、そういったことも考えられるかなというところがございます。

それぞれの施設の計画については、記載のとおりでございまして、今回、中学校については、先ほど資料でもご説明させていただいたとおり、10 学級規模というところ。校庭につきましては、現在と同程度確保できる見込みというところで、これは後ほど資料 4 でご説明させていただきます。

このパターン 1 の場合につきましては、どうしても学校と併設する図書館の面積が少し大きくなる場所もありまして、地下の利用が想定される場所でございます。これも後ほど資料 4 でご説明させていただきます。

図書館につきましては、一定のスリム化を図っていくことが必要だと考えております。

ソフト面、ハード面での複合化の効果については、この間ご説明させていただいているとおり、学校にとっては地域図書館との緊密な連携による教育環境の向上であったり、あるいは休校日等に学校が使わないときに、図書館の利用の方が学校図書館などを使うことができるのではないかとこのところでございます。

そのほか、閲覧スペースですとか、講座室の共用なども考えられるかなど。この辺りは具体的な設計を進めていく中で、様々なメリットがこのほかの部分も生まれてくるのではないかと考えております。

そのほか、この計画上のメリット・デメリットというところでは、1つのメリットとしては移転ということになるので、図書館が休館期間なく改築が可能であるというところ。あるいは保育園についても、休園期間なく改築が可能だということでございます。

一方で、コストの部分については、地下があるというところで、この辺りは精査が様々な必要かと思えますけれども、地下があることから、ほかのパターンよりは高くなることが想定される場所でございます。

次にパターン 2。これは中学校と集会施設の複合化でございます。面積については記載のとおりでございまして、この場合ですけれども、図書館が現在の敷地ということになりますと、すぐに改築をするのではなく、我々は今、建物の長寿命化にも取り組んでおりますので、例えばエレベーターをつけたりですとか、より使いやすくする形で改修をして、まず一旦、施設の延命化を図って行って、将来的に改築をしていくということが 1つ考えられるかというところでございます。

ですので、この資料には、当面はこの長寿命化改修を検討しながら、長寿命化させていただいた上で、例えば 10 年後、20 年後に改築をして

いくという際には、図書館と複合化ということや、現在のさざんかステップアップ教室などが考えられるというところでございます。

こちらの中学校図書館につきましては、学校の規模等は記載のとおりでございます。校庭面積についても同程度が確保できるというところ。一方で、地下利用はない形を想定しているというところでございます。

この中学校と集会施設を複合化した場合の効果というところについては、これは他の自治体の例などを見てみますと、例えば集会施設で地域の方がいろいろ活動されていて、その地域の方の人的資源を学校の教育環境に活用できるのではないかと。あるいは逆に、学校の特別教室を集会施設として一部使うこともできるのではないかと。この辺りはさらなる研究、検討が必要かと考えているところでございます。

この場合のメリット・デメリットでございますけれども、図書館についてはまず長寿命化改修をする際に、これは中央図書館でもありましたけれども、一定の休館期間がどうしても必要になってくるかというところ。将来の改築時には、約3年程度の休館が必要になってくるということ。

あるいは保育園についてなのですが、仮にこの図書館の敷地なりほかの用地で、仮設園舎が確保できないというケースになった場合については、休園が必要になってくる。そうしますと、このエリアにおける現在の保育園の定員が72名なのですが、一時的にこの地域の保育定員が減少する形が想定されるというところでございます。

また、さざんかステップアップ教室については、図書館と、現在と同様に、複合化できる可能性はあるというところでございます。

3つ目のパターンが、中学校は単独で、図書館の用地に図書館と集会施設を複合化するパターンというところでございます。こちらについても、校舎校庭については記載のとおりというところでございます。

このパターンであったとしても、校庭面積については、現状と同程度以上というところでございます。我々の今シミュレーションしている中では、例えば中学校単独になったとしても、校庭が一気に200㎡、300㎡増えるとか、そういった形は見込めないかなと。複合化したパターンと、少し大きめになるかもしれないのですが、そんなに劇的に大きくなる形はなかなか難しいかなと思っているところでございます。

図書館につきましては、最大1,600㎡建てられるという中での、集会施設との複合化という形ですので、1つ1,000㎡程度、集会室が600㎡

	<p>程度、この辺りのバランスは様々あるかと思えます。例えば図書館が1,100㎡で集会施設が500㎡ですとか、そういったところは様々あるかと思っております。</p> <p>この場合の複合化、いわゆる図書館と集会施設を複合化した場合のメリットということにつきましては、いわゆる図書館は単に本を読む場所ではなくて、まさにここに記載のとおり対話や交流を通じた出会い、活動の場としての図書館像に効果があるのではないかという点。あるいは現在、区の中では、永福図書館とコミュニティふらっと永福という集会施設、これが複合化しておりますので、そうした実例の実績もあるというところがございます。</p> <p>メリット・デメリットにつきましては、先ほどのパターン2と基本的には同様というところがございます。</p> <p>コスト面については、中学校は仮に単独という形になりますと、その分の面積が抑えられることから、他のパターンより低いことが想定されるというところがございます。</p> <p>中学校につきましても、単独という形なのか、例えば集会施設は図書館とですけれども、ほかの施設あるいは用途と複合化をする、そういった可能性も検討できるのではないかと捉えているところがございます。</p> <p>簡単ではございますが、資料3の説明は以上でございます。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>引き続きまして、資料4のご説明をしたいと思います。</p> <p>こちらは、従前から課題になっておりました先ほどの複合化の3パターンで申しあげましたパターン1、中学校と図書館の複合化の場合に、今回、2つの配置例でございますけれども、少し精緻な絵を描いたときに、学校規模は先ほど来申しあげておりましたとおり、10学級ということで、必要な諸室はどのパターンでも確保していくと。それからグラウンドを少なくとも今の広さ程度のグラウンドはしっかり確保した上で、どんな配置ができるのか、地下利用がどれだけ必要になってくるのかというところでスタディをしたものを、基本計画策定支援事業者様に書いていただきましたので、説明のほうは基本計画策定支援事業者様のほうからお願いしたいと思います。</p>
<p>基本計画策定 支援事業者</p>	<p>よろしくお願いたします。</p> <p>資料4のご説明をします。まず1枚目、2枚目につきましては、南側に校庭を配置し、北側に校舎を配置した、こういうゾーニングとなっております。これが今の学校の配置と同様の配置となっております。</p> <p>まずお話があったとおり、校庭を4,400㎡確保するというところ、あ</p>

とは各条例、法規関係を照らし合わせて、どれだけボリュームが取れるかということを出しております。

簡単にご説明しますと、この青い線で影のような形になっているのが、これが実際の校舎が落とす日影になります。赤い線になっているところが、日中、2時間、3時間ずっと影になっている部分を表しているものになります。この辺りでボリュームが法規制にのっとって決まってくる形になっています。

左下のほう、建物階数概要とございます。これがおおむね建物の高さ方向を示しているもので、現在でいうと2階から4階までの高さを分かるような形にしております。

この辺を踏まえて、ゾーニング計画のご説明をします。

現在、絵でいうと左上に図書館を配置し、真ん中の校庭をぐるっと囲う形で校舎の配置をしております。1階は体育館、図書館、関係諸室等、給食室、この辺りを配置しています。図書館をまた別で、2階建ての建物として造っております。

次のページに行きますと、地下及び2、3、4階のゾーニングが分かる形になっております。

全体的に、中学校7,500㎡を基準として、図書館はおおむね1,600㎡ぐらいを基準としてみると、地下の部分に関しましても、一部利用が必要なのかと。こういったところは、あまり採光、通風に関係ない倉庫とか、そういったものの管理諸室を配置。図書館に関しても同様です。その辺が想定できるのではないかと考えております。

上に行きますと、2、3、4階、赤く塗ってあるところが基本、普通教室になります。先ほどお話があったとおり、ひとまずただいま10学級ということで想定すると、全て校庭、南側を向いた配置にほぼなっています。普通教室7番は西向きになりますが、おおむね校庭を向いた、現在の環境と近い形になるのではないかと考えております。

その他、どうしても校舎が大きくなっている分、プールが地上部に配置できないため、体育館の上部に配置するというプランになっております。

続きまして、3ページ目になります。こちらは逆に、北側に校庭、南側に校舎を配置したプランになっております。

こちらも同様に、日影のラインが入っております。こちらは比較的南側に寄る分、日影の影響は非常に少ないのですが、計画道路が今回入っておりますので、その部分に建物がかからない形で配置をしています。

	<p>図書館につきましては、図面でいう右上の辺りに2階建てで配置、その他残り部分は校庭を囲う形で校舎及び体育館の配置となっております。</p> <p>面積に関しても、先ほどと同等程度を想定しておりまして、中学校が7,500㎡程度、図書館が1,600㎡程度を確保できるような形で考えております。</p> <p>次のページも同様に、その状態及び地下の部分を示しております。多少こちらのほうが平面的に建物の面積が少ないものですから、地階部分がちょっと増えておるような形です。</p> <p>同様に、2階以上のところに普通教室につきましては、校庭を向いて北向きにはなりますが、校庭を向いた配置が取れているという形にはなっております。</p> <p>最後に、5ページ目ですが、これはそれぞれの案で工事がどのように進んでいくかというステップを示したものになります。</p> <p>向かって左側は北校舎の配置案です。北校舎に関しましては、現在建物が建っているところに同様に建物を建てなければいけませんので、現在のグラウンドに仮校舎及び仮設の体育館を設置して、その後引っ越しした後に、現在の校舎、屋外運動場、プールなどを解体して同じように新しい校舎、体育館を建てていくという形の配置になっております。</p> <p>一方、南側の校舎につきましては、先に体育館を解体し、プールを解体し、体育館を先行して建築することで、体育館などは新しいもので仮使用して進めていく。その後、校舎を新設して、またこちらも引っ越しして仮使用を進めていく。最終的に、今回プランとしている複合化の図書館につきまして建築をしていくという形で、仮設校舎を比較的つくらずに工事が進めるのではないかとこの形の配置になっております。</p> <p>簡単ですが、私から資料4の説明は以上です。</p>
進行役	<p>取りあえずここまででよろしいですか。</p> <p>ということで、今回、大きな提案が今、資料3であったと思うのですが、これについて、随分広い範囲ではあります、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>期間なのですが、新しい中学校をもしこのパターンで建設する場合、①と②の期間の違い、建築期間が違うのでしょうか。</p> <p>あと、北側を向いている教室というのがあまりイメージはないのですが、最近、北側も光は差すということで、あまり直射日光も入らずいい</p>

	<p>ということもあるのですが、実際見たことがない、大体南側に校庭があるパターンが多いので、北側の校庭のイメージがないのですが、そういうイメージを提案していただけると、より具体的に分かるかなと思います。</p> <p>あと、保育園の移転、複合パターンについてのパターン①の保育園の移転なのですが、これは特に反対もなくスムーズにいけるものなのでしょうか。保育園ということで、お子さんがそこに集まるので、公園とかでもいろいろと問題になっているので、その点はスムーズにいつているのか、ほかの事案とかでお伺いしたいなど。この複合化パターン①、パターン②、パターン③で、建築期間はどのぐらい違いが出るのかなというのを伺いしたいなと思いました。</p> <p>お願いいたします。</p>
進行役	今、3点ありましたけれども、よろしいですか。
基本計画策定 支援事業者	<p>まず、資料4のほうの、それぞれのプランにおける工事期間についてご説明をいたします。</p> <p>2案目、D案と書いてあるのですがけれども、南側校舎にした場合は、順次壊して順次造っていくという形になるので、1ページ目、2ページ目の計画案A案よりは工事期間が長くなる傾向にあると思います。具体的にどれぐらい長いかというのはなかなかお答えできないのですが、D案のほうが長くなる形になります。</p> <p>あと、北向き教室に関しましては、周囲が住宅地ですので、南に配置するということ、もしくは西向きという形も考えはできるのですがけれども、ひとまずはその辺を排除して、今、北向きに置いている状況です。直射日光が入らないほうが良いという学習環境も1つあるとは思いますが、これも1つのご提案かと考えております。</p>
企画課施設マ ネジメント担 当課長	<p>私から保育園の関係で。保育園につきましては、この間も幾つか区立保育園の改築をさせていただいて、保育園については、例えば学校のように敷地内に仮設を建ててというものがどこも難しいので、別な近隣のところに、区の用地であったり、そういったところにどうしても仮設を建てて、一時的に移転をして、戻ってくるというパターンであったり、あるいは移転をする改築というパターン、様々ございますけれども、実施するに当たっては、保護者の皆様にまずはしっかりとご説明をして、ご理解を得て進めていくというところをございまして、この間、ご理解を頂きながら進めさせていただいております。</p> <p>また、着工するに当たりましては、例えば将来的に入園を考えていら</p>

	<p>っしやる方などもございますので、ただちに着工するというよりは、十分な周知期間なども図りながら、将来的にこの保育園は改築の対象になっていますとか、そういったところを保育の案内にもしっかり明記をしてご案内、ご理解を頂いた上で進めさせていただいているという状況でございます。</p>
委員	<p>近隣地域の方とトラブルになったりとかは、今まではないということですよ。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>基本的に、例えば保育園についても受け止めが様々あるというところで、例えば園児の声やそういったところが懸念、不安を持たれる住民の方も当然ながらいらっしゃいますので、そういった皆様には、しっかりと所管課からご説明して、あるいはできる対策を取りながら進めているというところがございます。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>では、ほかにもございますでしょうか。</p>
委員	<p>ご丁寧に説明していただきありがとうございます。</p> <p>私はこの資料3で、複合化のパターンを3つ示していただきながら、私の理解が進んでいないのかもしれませんが、資料4では中学校に図書館の併設のパターンのご説明をしていただいています、これは資料3で、こういった複合のパターンがございますよ、ということをお示しされていることと、資料4で中学校の図書館の併設をうたっているという事は、逆にいうと資料3の資料を基にすると、パターン①で行きますよと、どうしても受け止めてしまいますので、その辺りのところをご説明いただければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>今回、お示しをしたのが、この間、学校と図書館の複合化を視野にということで、いろいろご説明をさせていただいて、その中で皆様のご意見として、例えば複合化するメリットについてはこういったものがあるというものは例えば理解ができるのだけれども、この西宮中学校という敷地の中でそれが果たしてできるのだろうか、特に校庭の面積がどういう形になるのだろうかというところがありましたので、今回、まずは資料4という形で図書館を複合化したパターンでお示しさせていただいたところがございます。</p> <p>そうした意味で、いわゆるパターン①のみの提示にはなっておりますけれども、それありきということではなくて、まさに皆様からの率直なご意見を頂く中で、議論をしてまいりたいという趣旨でございます。</p>

進行役	<p>今回、2のパターン、3のパターンが出てきたというのは、すごく今までの流れとは大きく変わったところだと思いますので、ぜひいろいろなご意見がありましたら、お寄せいただけるとありがたいです。</p>
学校整備担当部長	<p>図書館の皆さん、いかがですか。ご意見を頂きたいのですけれども。</p>
委員	<p>この地域のいろいろな問題を総合的に示していただいたと思っています。ありがとうございます。</p> <p>もうちょっと私の中でいろいろなこと、保育園の子どもたちのことも考えていきたいと、これを見て思いましたが、でも、普通学級の数をぎりぎり減らしてこれかというのが基本的にあって、中学校の学校環境を確保するとおっしゃっていましたが、教育委員会の方々には学校の敷地を有効活用するという流れが行っていたとしても、教育環境を守るのが教育委員会の方の仕事だと思います。なので、これだけのことを示していただいたのは大変だったと思いますので、よく考えていきます。</p> <p>資料4のほうでちょっと目についたので質問いたしますが、図書館の建物が結構大きく取っていただけるのかなと思いますが、機械式駐輪場60台とになっていまして、これはどんなものかということをまず教えていただきたいのと、60台では少ないと思うのです。今、コミュニティふらっとと併設している永福図書館を見に行きまして、駐輪場もちょっと見ました。結構、平面で使える駐輪場があって、自転車100台分はあったと思います。</p> <p>今の宮前図書館の利用数は、第1回るとき杉並区で一番多いと示していただいていますよね。60台に絞らざるを得ない環境は、この複合化施設の問題の中にあるのかなと。その辺の施設利用についても、使いやすいように、機能を落とさないように考えていただけたらと思います。私はもともと中学校の中に図書館を入れることは考えていないので、すみません。お伝えしておきます。</p>
進行役	<p>ご質問は特によろしいですか。</p>
委員	<p>質問です。お願いします。60台というのは、数とかでなくても、機械式駐輪場のイメージを教えてください。</p>
中央図書館館長	<p>60台というのは、あくまでもこれは1つの例示として今回申し上げたもので、今の宮前図書館で実際にどのぐらい利用があるのか、そういうものを踏まえて、しっかりと必要な台数を確保していくものだと思っています。</p>

基本計画策定 支援事業者	機械式駐輪場につきましては、よく駅前とかにあるような、機械で上げるようなものであったりとか、あとは互い違いに高さが違っていて、より多くの台数が置けるようなものという認識であればよろしいかと思えます。ひとまずこのスペースとして、機械式のを置いたら60台になりますよという、あくまでも例になります。
委員	上に上げないといけないということですか。
基本計画策定 支援事業者	そうですね。何かしら上げる形のもので。
進行役	全部ではないですよ。互い違いに、ということですよ。
基本計画策定 支援事業者	そうです。いろいろなパターンがありますので、自転車ごと上げるタイプももちろんありますし、あとは互い違いに2段になっていて、というものもあります。少なくとも、通常平面の駐輪場ではなく、そういった器具を置いて、駐輪台数を多くするというものを採用すると、60台分ぐらいのスペースですという形の絵です。
委員	機械式を使って60台ですか。
基本計画策定 支援事業者	そうです。
委員	図書館利用の方は、お年寄りの方も相当多くて、私でも、上にぐっと上げるタイプは諦めています。かごとかもあるし。使いにくいなというのは絶対的にあると思えます。
進行役	意見として伺いました。では、ご質問についてはよろしいですか。
委員	質問なのですが、パターン1の場合のみ地下利用を想定しているということではよろしいでしょうか。その場合、図案を見させていただいて、地下に、例えば図書館でしたら、蔵書を置いて地下に保管するものなのか、閲覧の場所として利用の予定でいるのかということと、学校の場合は、どういった地下の利用を考えていらっしゃるのか。これを見ますと、管理諸室等となっているのですが、どういった部屋を想定されているかを伺いたいです。
基本計画策定 支援事業者	図書館につきましては、基本的には人が長時間滞在する、いわゆる居室というものは考えておらず、保管庫、あとは閉架の図書とか機械関係のものを想定しています。 学校につきましては、基本的には同様に、居室といわれるものはなるべく地下に持ってこないように、印刷室であったりとか、職員さんの更衣室、あとは倉庫、開放施設のシャワールームとか、そういった特に採光を必要としないようなところを想定しております。

	<p>ただ、2つ目のプランに関しましては、地下部分が多くなっているのですけれども、職員さんの控室とか救急室のようなものは一部、地下に持ってこないと、ちょっと面積が足りないのかなと想定しています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうすると、そんなに地下に持っていける部屋というのが、私の中ではそんなに多くないのかなと思ったのですが、それで㎡数を確保できる予定では一応いるということですのでよろしいでしょうか。分かりました。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>そのように想定しているということですね。</p> <p>ほかに。では、お願いします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>この複合化パターンを今回初めてお示ししていただいて、一番最初、この会議は最初から図書館と西宮中学校の複合ということで話がスタートしているのですけれども、前回の会議でいろいろなパターンということがあったときに、改めてこれを見直したときに、パターン1、2、3で、1がベストなのかな、どうなのかな、という部分を感じた次第です。というのは、例えばパターン2のところの集会施設、実はこれはゆうゆう館を主に指しているのだと思うのですけれども、実は私、久我山館、コミふらの運営に携わっている者としては、すごく集会施設の日々の使用方法というのが、イメージがとても日々見ているのでつくのです。なので、そこの施設と、例えば中学校が一緒になった場合、場合によっては実はそこのお年寄りによく西宮中学校のお手伝いに来てもらったりしているので、そこが一緒になるほうが、日々の運営が私としては、実際、両方とも運営しておりますので、イメージがすごくつきやすいのです。</p> <p>一番ありがたいのは、確かに西宮が単独というのはありがたいのですけれども、ただ、敷地面積その他を諸々考えたときに、パターン②がいいとは言えないのですけれども、ただ、図書館よりは集会施設が一緒のほうが、にぎやかな中学生の声が、ゆうゆう館を利用しているお年寄りはいつも元気をもらってうれしいのよという声、よくゆうゆう館にも、西宮生が訪問していろいろなお手伝いをするのですが、と言って、いつも中学生の刺激を喜んでくださっているのですね。</p> <p>なので、パターンでいくと、静かに読書をしたい図書館を利用する人と、頼もしい中学生の声を聞く、集会施設に集まるお年寄りと、どちらが日々の生活の中でプラスになるのかなと、改めてこの複合化のパター</p>

	<p>ンを見て、つくづく感じて、もっといい方法が複合化、いろいろな経費その他を考えたときに複合化は必要だとしたときに、最適なものはどれかという見通しを、このパターンによって、実際私は本当に集会施設を日々見て、もう 20 年近くになるのですけれども、分かるので、その辺りも含めて考えていただくとありがたいと思いました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ご意見としてよろしくお願いします。</p> <p>では、ほかにありましたらお願いします。</p>
委員	<p>図書館のほうなのですけれども、図書館が 1,600 m<sup>2</sup>、これは高井戸図書館と同じ広さであって、高井戸図書館に余裕はありません。ここから先の図書館を考えますと、図書館自体にもほかのいろいろなことができる余裕が必要なのではないかなと思います。</p> <p>建ててしまったらおしまいになりますので、ここから 50 年とか先を考えれば、もうちょっと図書館に余裕が欲しいと私は思って、それこそ集会施設と一緒にあれば、教室利用でもそこから先の世界も広がるのではないかなという感じがしました。</p> <p>図書館を建ててしまったら、それだけのスペースだけにしかありませんので、どうかここは考えていただきたいなというところです。</p>
進行役	<p>特に②と③とどちらがいいというのはあるのですか。</p>
委員	<p>②と③のどちらがいいかですか。私が考えるには、③の単独改築であって、もしも 10 年後なり 20 年後なり人数が少なくなったら、それこそ集会部分に転用できるようなことを考えてほしい。特別室がありますよね。あれは一般利用もできるとすごくいいのではないかと、私は思っています。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。もちろん、この①②③から選べという話ではないと思いますのですけれども、参考までに伺いました。</p>
委員	<p>今、パターンを示していただいた中で、ちょっと気になったところがあったので。</p> <p>あくまでも、これは案なので、これで決まりではないと思うのですけれども、両パターンとも東側の道路側に校舎が来るわけですよ。一番心配しているのは、現状の体育館とプールは屋根がない、そこへこの断面を見てみますと、プールと教室が入るということは、現状から言って、東側の方から見れば、急に建物が建ってしまったのではないかと見られることもあると思うのです。ですから、その辺は十分、近隣の方と調整していただいて、我々はここに住んでいるわけではありませぬので、</p>

	<p>近隣の方は結局、一生の問題ですよ。ですからその辺はこの懇談会のメンバーもそうなのですから、十分近隣とお話ししていただきたい。</p> <p>それと、もう1つ、高さのm数を聞きたいのですけれども、断面図がありますよね。両パターンにお願いなのですから、プールのトップのところ、何mまで行くのですか。</p> <p>それと、教室のところ。特にプールはその上にフェンスか何か立つと思うのですけれども、その高さ等を入れるとどのぐらいなのかなというのを、ちょっと聞きたかったものですから。</p>
基本計画策定 支援事業者	<p>高さに関してご説明いたします。</p> <p>今、想定しているのは、大体ワンフロア4mぐらいということで考えておりますので、この断面図の点線のところは1つ4mと考えてください。トップのところは地面から大体16mぐらいの高さになるということをご想定しています。</p>
委員	<p>今、m数が分からなかったものですから。</p> <p>ありがとうございました。以上です。</p>
委員	<p>地域のほうからちょっと伺いたいと思います。</p> <p>まず、図書館のほうですが、パターン③については「現状規模から大幅なスリム化を図り改築」ということですが、どの程度のスリム化を図るのかというのが全然見えないというのが1つ。</p> <p>複合化パターンについて、3つ提案していただいたのは、本当に進んできたと思うのですが、ただ、さっき他の委員の方が言われたように、出てきた図面はパターン①だけですので、このパターン②と③について、具体的な案がないのは残念だと思います。それは意見です。</p> <p>そして、例えば、パターン②にしても③にしても、中学校の㎡数を建て替えた場合に、このパターン①で示された校舎のこの図面と同じような、ただ図書館がないという、あるいは集会施設をここに持ってくるというお考えなのか、その辺りを質問したいところです。私はパターン③をぜひと思っています。</p>
進行役	<p>今のご回答をよろしいですか。</p>
中央図書館館長	<p>まず、1点目について中央図書館からお答えします。大規模なスリム化ということですが、宮前図書館の跡地には、前からお話ししているように1,650㎡しか建物が建たないということがございます。建て替えにあたっては、図書館と集会施設が別々というよりも、一体化して、図書館と集会施設の両方の機能を持った施設を、今の建物の基準の中で最大</p>

	<p>限に建てるというイメージを持ってください。</p> <p>例えば、永福図書館とコミュニティふらっと永福は一緒の建物なのですが、コミュニティふらっとの中に、誰もが利用できる、ここでいう学習室、机と電源があってそこで勉強ができるスペースを、コミュニティ施設に設けております。</p> <p>また、併せて、YAコーナーという形で、書籍も、コミュニティふらっとに展示したりしておりますので、まだ具体的にどの程度の規模にするかというのは未定ですが、図書館機能、集会場機能を両方持つということで、ご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>1,650㎡ということと、それから集会施設が単独の場合は600㎡ですが、これは例えばパターン①の場合は図書館の中に集会施設600㎡が入るという考えでしょうか。それとも、例えばパターン③のように、今の図書館の施設の中でも建てられる規模が1,650㎡で、そこにも集会施設の600㎡が含まれるということでしょうか。その辺がちょっと理解できませんでした。</p>
中央図書館館長	<p>パターン①ですと、学校開放用の集会施設は別としまして、一般的な集会施設、コミュニティふらっとみたいなものはパターン1では入りません。移転した後の図書館の跡地に集会施設を造る形を考えています。パターン③については、学校単独ですので学校に集会施設は入りません。その代わりに、この地域で必要な集会施設を持った図書館として、集会施設と図書館の両方の機能を持ったものを、図書館跡地に造るということでございます。</p>
委員	<p>以前お話ししていただいたかもしれないのですがけれども、宮前図書館の敷地、割と裏に車を何台も止められる空き地があるのであれば、宮前図書館の敷地は何㎡ですか。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>約1,650㎡というか。</p>
委員	<p>容積率はそのまま。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>100%ですね。</p>
委員	<p>あそこは100%なのですか。</p>
企画課施設マネジメント担当	<p>敷地が1,691㎡。</p>

当課長	
委員	1,691 m <sup>2</sup> で約 100%。
企画課施設マネジメント担当課長	ですので、今回の仮の設定ということで、1,650 m <sup>2</sup> という形にしています。
委員	今は容積率がちょっと違反しているわけですよね。それは容積率が変わったということなのですね。
企画課施設マネジメント担当課長	そうです。
委員	隣に老人福祉施設がありますけれども、あそこも 100%なのですか。結構庭がある。
学校整備担当課長	井の頭通り沿いでは、業務系の商業施設、大きいのも建つし、いろいろなお店もできますが、こちらは住宅地ですから。
委員	老人施設も容積率は 100%で、あれが建てられているということですか。
学校整備担当課長	井の頭通り沿いはありますけれども、そこから 20m 入ったこの南のエリアは、第一種低層住居専用地域で、建蔽率が 50%、容積率が 100%です。
委員	分かりました。ありがとうございます。
委員	先ほど質問しましたもう 1 つの質問に答えていただきたいのですが、パターン②あるいはパターン③の場合にも、中学校の図面、配置計画というのは、このパターン①と同じですか。
学校整備担当課長	パターンについていうと、今回、当初からパターン①のケースをこの間、いろいろ議論してきたのでこの図面を示したのですがけれども、パターン②、パターン③についても、北側配置だったり南側配置だったり、一番当初のときは、資料を覚えているかと思えますけれども、東側配置もあったわけですね。そうすると、それぞれについて 3 パターンぐらいありますから、全部を細かく検討すると 9 パターンぐらいあるわけです。なので、今日はそこまでお示ししていると混乱もしますので、まずは当初からのパターン①を示して、北側の配置と南側の配置がありますよと。細かくはそのパターンを②にも③にも応用して、全部で 3 × 3 = 9 パターンぐらいはあるわけですがけれども、イメージとしてはパターン①の北側配置でいえば図書館のところに、集会施設は 600 m <sup>2</sup> ですからもうちょっとコンパクトにはなるのですがけれども、イメージとしてはそう

	<p>というイメージでいいと思います。</p>
進行役	<p>よろしいですか。ほかにございますか。</p>
委員	<p>パターン③は中学校の敷地として中学校に必要なものを設置するというので、何で教室数とかは10にすると決めてしまっているのですか。</p> <p>愚問かもしれませんが、その地域で教室は10と想定して決めてくださっているのだけれども、何かと複合化しなければ、もうちょっと、1つでも普通学級が取れて、それが将来的にまた生かせるという考えはないのでしょうか。</p>
学校整備担当 課長	<p>先ほどもちょっと触れていますが、あくまで西宮中学校の校舎の改築については、標準的な規模、諸室で計画していますから、別に複合化があるから10にしているとか、そういうことではないのですね。</p> <p>なので、比べるときに、単独になったからこういう諸室もあつたらいいよねということで、変えていってしまうと、比較が難しくなってしまいますよね。</p> <p>だから、どのパターンにしても、中学校の必要な諸室、規模は取りますよと。今回、仮に将来の設計で10というのを置いたので、それはどのパターンでも10学級の教室で、必要な諸室を整備したという前提でいかないと、複合化したから小さくなってしまった、あるいは諸室が足りないということだと、全然複合化の当初提案した、それによって機能を損なうことはありませんよという前提が崩れてしまうので。そこは全部同じフラットにやったということです。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>では、お願いします。</p>
委員	<p>今、いろいろとご説明いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>率直な感想ですが、パターン②とパターン③の資料がないので、ちょっと具体的にイメージしづらいのですが、この資料3の2ページのパターンを見る限りにおいては、私はパターン③が一番バランスが取れているのかなと思いました。</p> <p>理由は幾つかありますが、まず1つ目が、校庭を広く取れることです。松庵小学校も野球部の子どもたち、毎週一生懸命練習していますが、西宮中に進学してまた新しいグラウンドでできることを楽しみにしています。そういう意味では、少しでも子どもたちのためには、広い校庭を取れるのがいいのかなと思います。</p> <p>それから、今日の最初のほうの改築規模の議論がありましたけれど</p>

	<p>も、10 学級ということで示していただいているのですが、肌感覚では子どもたちは増えていますので、そういった意味では、10 学級ではなくて12 学級の対応も、この中学校単独であれば取りやすいのではないかと思います。</p> <p>もう少し詳しく言いますと、実は松庵小学校、今の1年生、昨年4月に80名入学しましたが、年明けの1月の段階では65名程度だと聞いています。そこから、急に15名ぐらい増えて、それも他地区のほうから問合せがあつて、松庵小学校に入れた子もいますし、そうでなくても最初は一旦仮住まいで外に住むけれども、中に入りますからとか、そういう結構、この地区はそういう環境、要するに少子化の流れではありますが、かわいい我が子のための就学環境という意味では、すごく真剣に皆さん考えられていて、人が集まってきている地域ではないかと思えますので、そういった意味では、こういう12学級対応のしやすい③がいいのかなと思います。</p> <p>「大幅なスリム化」云々というのは気になりますが、最後に一番下にコストですね。コストも他のパターン①②よりも低く抑えられるということですので、そういった意味では、トータルで見ると中学校単独で、中学校の改築がメインのテーマだと思いますので優れているのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>そろそろ時間も迫ってきておりますので、もしありましたらまとめてお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今日、こういう形で3パターン示していただいて本当にありがとうございました。こういう形が出てくるというのは想像していませんでしたので、私、学校に携わる人間としては、今、ご意見もありましたけれども、子どもたちのためを考えると少しでも大きな校庭を造ってあげたいと思うのですね。そして、そういう意味では、現状に即した形での改築ができるパターン③というのが、私もぜひそうなるといいなと思います。</p> <p>それが私の意見なのですが、最後にちょっとお話ししようと思っていたのですが、私はこの委員になっておりますけれども、さっき他の委員の方がお話しになっていたのですが、この会議、4回目になりまして、こうやって、私は今日初めて参加させていただいたのですが、実はこの周りには、隣接でお住まいになっている方々が何軒もあります。そうい</p>

	<p>う方々に対するこの改築についての説明というのは、自分も横にはおるのですけれども、十分に果たされているとはとても思えないのですね。皆さんこの場所が好きで、ここに住んで、この場所を愛していらっしゃる方々です。そういう方々に対して懇切丁寧にご説明されたり、また、それぞれの方々のご意見を聞くということを、ぜひ切にお願いしたいと私は思います。それは意見として出させていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。以上です。</p>
進行役	<p>最後のことにつきましては、もし、説明会のこととかそういうものがありましたらご回答ください。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>この懇談会発足当初にニュースという形で一回配らせていただいておりますけれども、そういった形は、引き続き要所要所でしっかり周りの方々に周知、お知らせをしていきたいと思っています。</p> <p>また加えて、今後、まだ大きな枠組み自体決まっていない状況ですけれども、ある程度まとまりつつある状況では、説明会などもしっかりやって、保護者の方ももちろんですけれども、周りの方々のご意見もしっかり反映していく場というのは今後も設けてしっかりやっていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>では、最後ということで。</p>
委員	<p>3パターン出していただきまして、ありがとうございました。できればもう少し早くに、複合化という話が出たときにこのパターンが欲しかったということがあります。</p> <p>というのも、これは私だけなのかもしれませんが、この話合いに呼ばれてから、不信感というか何かこの委員会自体が形骸的なものであって、実は水面下で何かどんどん進んでいくのではないかという、そういったものもありながら最初の頃に私は参加させていただいたところもありまして、区と一緒に考える姿勢というのを持って考えていきたいと思っていますので、今、ここで3パターン出していただきまして、これも形だけではなく、今、好意的な意見がたくさん出た中で、深くみんな考えていけるような、共に一緒に区と住民が考えていけるという関係性の中で話合いを進めていっていただきたいと思うので、何とぞよろしくお願ひいたします。</p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。</p>

	<p>ぜひ一緒に、いいものをつくっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>これで一旦、今日は切らせていただきますが、私も司会でなかなか言う機会がなくて、今日も言おうかどうか迷っていたのですが、回答は一切要りません。結構です。言って終わりにしますから。</p> <p>多くの方はお気づきだと思うので言います。杉並自動車学校が8月をもって閉校になる。これはホームページに出ています。だからこれは秘密でも何でもないのですね。</p> <p>そういうふうになると、皆さんいろいろなことをお考えになると思うのですけれども、当然、莫大なお金、想像を絶するようなお金がかかることですから、それはなかなか難しいと実は私も思っています。私もそういう経験が前の区でありましたので。ですから、あくまでこれは皆さんも分かっていると思うのですけれども、聞き流していただいて結構なのですが、実は、もしそこを利用できるとなると、①も含めていろいろなパターンが考えられるのですね。</p> <p>しかも、学校、子どもたちは仮設校舎が要らなくなるのです。それから図書館と別であっても一緒であっても、改築のときに図書館もここを使える。保育園も使える。本当にバラ色なのですけれども、ただ、もちろんそれは大変なことは分かっていますけれども、もしそういうことを少しでも考えられる余地があったらご検討いただければということで、これは一切ご回答要りません。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これで本日予定していた議題は終了となります。学識経験者の方から、コメントを頂ければと思います。</p>
委員	<p>資料3でパターン①、パターン②、パターン③を出していただいたことが、今回、何よりも思いました。</p> <p>パターン①のソフト面に「休校日等の学校不要時に図書館利用者が学校図書館等を利用」と書かれていますけれども、大体運営している併設の場合、学校の物は借りられません。見るだけみたいな形になっていたりして、そんなに効果はないかなと思っていたりします。</p> <p>それから、いろいろな学校教育の課題を考えて、あと、先生たちの負担を考えると、中学校は単独というパターン③で進めていただけないかと思うところが、私としては大です。</p> <p>パターン②もあり得なくはないなとして今まで意見を申し上げてきたのですけれども、パターン③の図書館敷地に図書館が1,050㎡、それから集会施設600㎡と書かれておりますが、区の方にお答えいただきま</p>

	<p>したように、今後の図書館の機能そのものが、どう変わっていくのか、前は欠席して失礼いたしましたけれども、資料を貸したりしてそこで読む、勉強する以外に、そこで出会うとか、創作活動をしていくとかの工房、メーカースペースの併設を考えると、社会教育としてどういう施設が必要なのかということは、そちらはそちらで要検討事項だと思いますので、学校との融合というよりは、社会教育施設そのものの見直しという点で、パターン③が有効なのではないかと思って聞いていました。</p> <p>学校と社会教育とのいろいろな連携教育ということは、協力体制をしていくということももちろん大事だし、コミュニティスクールとしての地域貢献ということも大事なのですけれども、今のパターンとしては、社会教育施設そのものの未来像、スリム化はどこがスリム化するのというのは、これから学校教育も社会教育もDX化が進んでいくと思いますので、情報機器類と住民生活がどうなっていくのかということも考えていくと、いろいろな検討事項はたくさんあって、その辺のことを今後50年先の住民に不便を残さないように検討していくと考えたときに、学校教育は学校教育ならではで解決しなければいけないこと、社会教育は社会教育ならではで解決しなければいけないことのほうに、私は軍配を上げたいなと思って聞いていました。前回の資料が生きて皆さんに働きかけられたということ、すごく喜んでます。</p> <p>筑波大学の吉田右子先生も、大阪の公共図書館で未来の図書館についての講演会もされていますので、そんな図書館についての勉強会も、もし可能であれば地域でできることもあるかなと思ったりしました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、お願いします。</p>
委員	<p>今日は、オンラインで参加ということで、本当は行こうと思っていたのですが、この後、対面で大学のほうで会議があったりということもあって、今回はオンラインにさせていただきました。</p> <p>既に皆さん、ご依頼というかご指摘されているように、パターン①、パターン②、パターン③ということで、これまで図書館と中学校との複合ということがある意味少し前提として進んできた面がありますが、一回それをリセットというわけではないのですが、新しいパターンとして、中学校と集会施設を合わせるパターンというのと、中学校は単独にして、現在の敷地に図書館と集会施設を組み合わせると。恐らく、ほかにもいろいろなパターンがあると思いますが、現実的にはこの3パター</p>

ンかなと思います。

本来であれば、最初からこの3パターンというものを出しながら、議論していくというのが本来であったのかなと思ったのですが、遅ればせながら、今さらという形になりますが、皆さんおっしゃるように、パターン②とパターン③に関しても、まずは詳細な配置計画ですとか、空間構成の案というものを出しながら、比較して、検討していくということが必要になってくる。

私もあの敷地でいろいろ前に配置をやって感じたのですが、恐らく、集会施設にしても、中学校単独にしても、大体北側配置か、南側配置というパターンしかなくて、恐らく仮設校舎を造らないとしたら南しかないというのは、これは恐らく中学校単独で建てたとしても、あまり多くのパターンはないのかなと思います。

中学校単独であれば、今の校舎をそのまま入れ替えるということも可能だと思いますが、既に既存不適格的な部分もあるので、ある程度、今まで校舎が建っていなかった南側の部分に、一部校舎が出てくるというのはやむを得ないのかなと思っていますが、現実的には、仮設校舎を造るというのはコスト的にもかかるので、南側に配置するというのが現実的になってしまう部分もあるかと思いますが、いずれにしても、詳細なパターン①②③の検討が必要だと。

それから、今、他の委員の方もおっしゃった部分もありますが、ソフト面とハード面はもうちょっと丁寧に比較していく必要があるのかなと。

特に中学校と図書館の融合に関しては、今まで随分効果ということが示されてきたのですが、例えば中学校とそういった集会施設というか、多世代交流的な施設を合わせるということも、非常にいろいろな効果があるとは思いますが、私も実際、自分が計画した事例の中で、高齢者のデイケアですとか、いろいろな公民館的なものを中学校に合わせてうまく行っている事例とかもあります。当然、いろいろな問題点もありますので、そういう部分も含めて、ソフト、ハード。

あとは今、他の委員の方がおっしゃったように、新しい図書館像というのを考えたときに、集会施設とかとも合わせながら新しい図書館を地域の拠点として整備していくという考えも当然あると思いますので、パターン③の図書館の部分も、少し新しく考えているということも、いろいろな効果があると思いますので、全てのパターンに関して、いま一度もう少し細かくソフト、ハード面の検討をしていくということが当然考

	<p>えられるのかなど。</p> <p>それからコストは、今、パターンより高い、中間、低いという、単純に松竹梅みたいな形で書いてありますが、これも結構いろいろ重要な問題になると思います。</p> <p>例えば、校舎を地下にするという、当然コストが上がる部分がありますが、図書館の敷地の部分にパターン①の場合もどういう施設を組み合わせていくのかということで、大分コストは変わりますし、パターン②も、取りあえず図書館は一旦、長寿命化改修にしておいて、将来、建て替えるということになると、またそれは段階的なコストの計算になってきますので、その辺は幾つかのパターンによってはコストシミュレーションが変わってくると思いますので、ここもきちんと示していく必要があるのかなと思います。</p> <p>それから非常に重要なのがもう1つ、保育園の問題というのがあって、これが絡んできてしまっているのが面倒くさい部分があるのですが、保育園をどうするというのは、またこの表の中に入れるべきなのか、もう少し改めて別で考える必要もあるのかなと思います。</p> <p>保育園の土地がほかにはないのかとか、なぜ保育園の敷地内で学校のように段階的な建て替えができないのかというのがちょっと。今の図書館は敷地がないので、そのままいながら建て替えというのはできないというのは大体理解できますが、保育園の場合は、恐らく園庭もあると思うので、その辺が、現状の敷地の仮設のようなものがないのかというのは、今、私のほうもすぐ情報はないのですが、そういうものを含めて、保育園の問題は保育園の問題としても、きちんと整理したほうがいいのかなとは思っています。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日はいろいろなご意見を頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>また、本日の議事録につきましては、2週間後程度を目途にお送りさせていただきますので、またご確認をお願いできればと思います。</p> <p>それから、次回の懇談会の予定ですけれども、これから議会に入る関係で、2か月ほど空いてしまいますが、3月23日の木曜日、午前中、10時からを予定してございますので、ご予約いただくと大変助かりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>開催通知等は、また別途お送りさせていただきます。</p>

	事務局からは以上です。
進行役	それでは最後に学校整備担当部長よりご挨拶がございます。
学校整備担当部長	<p>本日も長時間にわたり、ありがとうございます。</p> <p>今日は内容が濃かったですね。最初の規模の話でこんなに時間がかかるとは思いませんでした。</p> <p>本当に、この宮前地域特有の課題というのもありつつ、各学校区内で平等に建て替えていくという立場から、一定の標準規模というのは必要かなといった中で、どういう形の運用も含めて新しい校舎が建てられるかということは、さらにまだまだ工夫が必要かなと、宿題を頂いたと思っています。</p> <p>それからパターンの問題。何でもっと早く出さないのという話もありましたが、基本的な計画はもちろんパターン①なのですけれども、この間、特に前回の12月にやった会議の内容を、私も本当に真剣に聞いて、これは①にこだわらず②や③も考えてみようという形で出してみました。</p> <p>ただ、皆さんにお願いしたいのは、幅広でこういう形でパターンを出したということは、いろいろな課題も広がるのです。さっき他の委員の方も言っていましたけれども、保育園の問題が出てきましたよね。ここは、西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会なのですけれども、ぜひ、皆さんにはこの地域の問題ということで、今回、図書館の問題、図書館が休館になるという問題だとか、あるいはまた保育園の問題だとか、さらにもう少し深堀りしてみたいのはパターン①も問題あるかもしれないし、②③についても、いい面もあるし課題もあるということ、今回パターンを広げたので、そういった意味でいうと課題も深堀りして、皆さんに正直ベースで全部お見せして、ご意見を伺うべきなのではないかと思いました。これが2点目です。</p> <p>それから最後、近隣の皆さんにちゃんとPRしてくれよという話がありましたよね。当然です。今、改築検討懇談会という形で、こういった進め方をしていますよというニュースを出しています。</p> <p>もちろん、それもやっていきますけれども、これからは例えば、中間の時点でどこかで一回説明会をやるとか、近隣の方用の説明会と、それからPTAだとか保護者の皆さんの説明会、そのときにはもしかしたら、小学校の皆さんにも来てもらってもいいかもしれませんし、そういった情報を公開して、皆さんからご意見を聞くという機会を幅広で設けていきたい。これが今申し上げたい3点目でございます。</p>

	本当に長い時間にわたり、ありがとうございました。私からは以上で ございます。
進行役	本当にどうもありがとうございました。 それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。